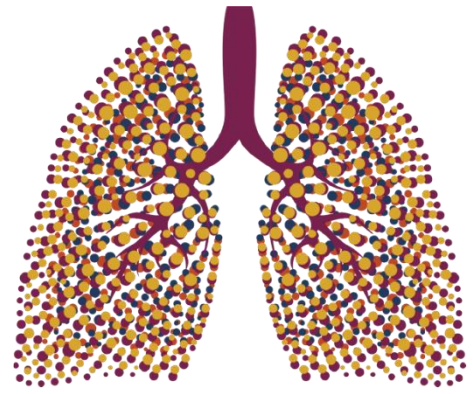


Stage III NSCLC Related Treatment Symposium



日時：8月3日(金) 19:00~20:30

会場：AZtrium アストラゼネカ本社 グランフロントタワーB 19階

Lecture①



倉田 宝保 先生

関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科 教授

『III期 NSCLC に対する化学放射線療法の変遷と今後』

切除不能の stage III 期 NSCLC に対する標準的治療は化学放射線治療とされている。

しかしながら、化学療法のレジメン、地固め療法の必要性など解決すべき課題が山積しており、そのため、ここ10年以上、治療進歩のない領域であった。このような背景の中、抗 PD-L1 抗体の出現がブレイクスルーとなることが期待されます。その点を含め、今後の治療について概説します。

Lecture②



中村 聡明 先生

関西医科大学附属病院 放射線治療科 准教授

『The III CRT era of St III NSCLC』

免疫チェックポイント阻害剤併用時代に入り、III 期非小細胞肺癌の放射線治療は大きな変換点を迎えようとしています。

これまでの放射線治療の問題点を振り返るとともに、3つのI(III)をキーワードとした、これからの放射線治療について概説します。

Discussion



倉田 宝保 先生

関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科 教授

『III 期 NSCLC の最適な治療選択について』

主催 アストラゼネカ株式会社

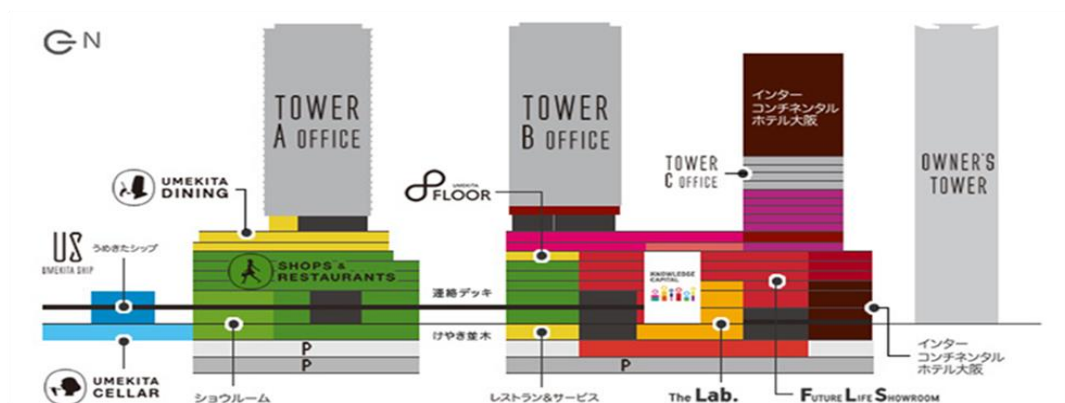
※お弁当をご用意しております。

場 所

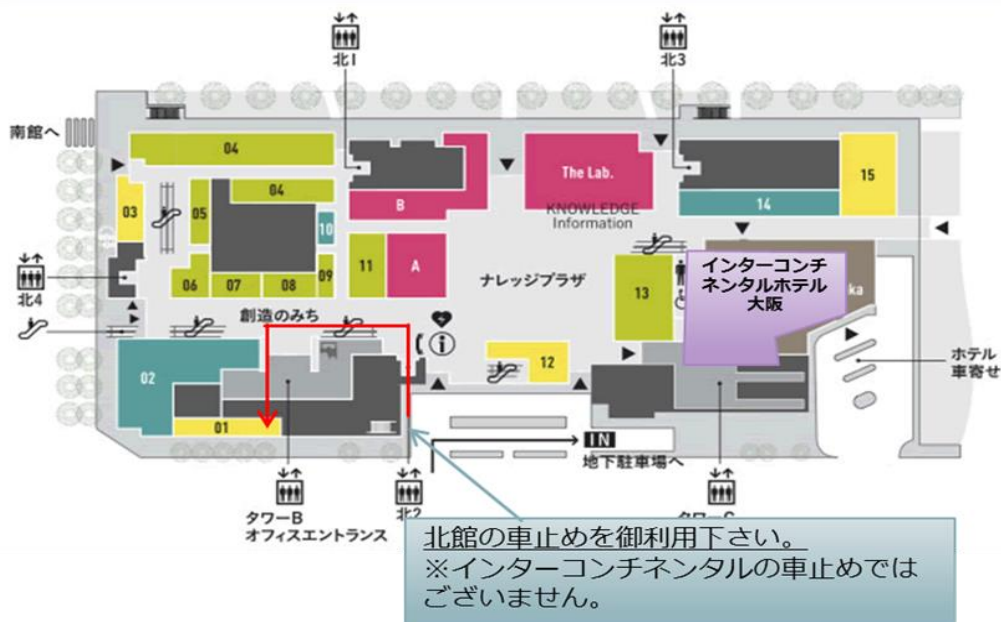
AstraZeneca 本社

大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪タワーB 19 階

会場地図



グランフロント北館1階フロアマップ



グランフロント北館9階フロアマップ

